受付番号 429

様式3

事

事務局体制	<u> の確認</u>					
選択	事務局体制の確認					
	グループ内に専任の担当者はいない					
	グループ内に専任の担当者を配置している					
選択	事務局の業務委託の確認					
	外部の業者に <mark>部分的に</mark> 業務委託をしている					
	外部の業者に <mark>全ての</mark> 業務を委託している					
業者名						
選択	グループのサポート体制					
	基本的に施工事業者が全て行い、交付申請等補助申請のみ対応					
	設計申請等のサポートが出来る体制になっている					
	施工に関するサポートが出来る体制になっている					
	維持管理に関するサポートが出来る体制になっている					
	地域型住宅の営業提案に関するサポートが出来る体制になっている					
-	その他、グループ特有のサポート体制がある					
内容						
選択	グループ内の情報共有の方法					
	グループ内で事業説明会を実施する					
-	SNS等の情報共有ツールを使った情報公開・共有					
	メール・メーリングリストを使った情報発信					
	ホームページ等Webを使った情報共有・発信(会員専用ページなど)					
	TEL・FAXを使った情報共有・発信					
	TEL・FAXを使うた情報共有・発信 その他					
	各種マニュアルの作成。リモート会議の継続開催					
内容 選択	所属工務店の廃業等があった際の対応					
	お定ルールに基づいて積立を行っており廃業があった際の検査費用として活用し維持管					
	プループ事務局で維持管理を引き継ぐ工務店を紹介					
	グループ事務局にて維持管理を代行					
	プループ事務局が住まい手と相談し住まい手の意向に合わせる					
	第三者機関に維持管理業務を任せるため問題なし					
	ガループ事務局として対応しない					
	その他					
	-CO/IB					
内容						
地域型住宅	の仕様、品質に関する取組みについて					
選択	主要構造部における地域材の推奨割合					
	5 0 %未満					
_	5 0 %以上					
	80%以上					
選択	グループの住宅性能の向上や第三者による評価に関する取組					
_	設計性能評価書を取得している					
	建設性能評価書を取得している					
	耐震等級3を取得している					
•	ゼロ・エネルギー住宅でも長期優良住宅の認定を取得している					
	ZEHに取り組んでいる					
•	BELSに取り組んでいる					
	低炭素住宅の認定を取得している					
•	その他					
内容	・ 震等級3耐風等級2標準+制振採用、停電・断水に備える「設備機器のトータル提案」などの					

受付番号	429	グループ名称	南九州の地域共生住宅をつくる会				
		111.1 B=123.					
選択	1		名の生産体制に関する取組み				
		宅で使用する用材の寸法					
_	地域型住宅	宅の施工に関する統一基準	集がある。(一部箇所も含む) 				
	地域型住宅	宅の信頼性確保に向けた	検査ルールがある				
	地域型住?	宅の積算・見積もりに関	する統一したルールがある				
	使用するは	也域材の在庫把握の仕組	7				
	指定(推り	指定(推奨)の建材・住宅設備機器等の活用による在庫情報の共有					
	地域型住宅	地域型住宅としてのグループ独自の証明証の発行					
	完成保証	・地盤補償等の各種保険の	の添付(瑕疵担保責任保険は除く)				
	その他						
内容	地域材調達(の共同化を目指す。またほ	作年のウッドショックを受けて標準部材の見直しやプレ				
地域型住宅	の維持管理に	関する取組みについて					
選択		住宅履歴	情報の管理・活用について				
	住宅履歴	青報は施主が保管管理を	<u> </u>				
	住宅履歴	青報は施工工務店で保管	管理を行う(施工工務店任せ)				
	住宅履歴	青報はグループ事務局で [.]	 一括して保管管理を行う				
	グループ	で指定する住宅履歴情報	サービス機関で保管管理する				
	その他						
内容							
選択		維持管理の	実施に関する取組みについて				
	<u>ー</u> グループ‡		でって維持管理・点検を行う				
		の維持管理計画書に従っ					
			(契約) して維持管理を実施				
		の実施に関しては施工工					
	その他						
内容	Coole		_				
選択		グループ事務	局での維持管理の対応について				
	グループョ		格して維持管理・点検を行う				
			事務局にて報告を受け管理する				
	1,2,7,2,2	の実施に関してグループ	3 333 31 2 1 1 1 2 2 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3				
_		、サポート体制に関する					
<u>フルー</u> フ C 選択							
		申請、実績報告等の補助					
			尹杲に関連する説明云 の設計技術・知識に関する研修会				
		宅に関連した施工技術・st 宅の維持管理に関連した					
		平価・表示協会が開催する					
		支援機構が開催する仕様					
		ネルギーに関連した研修:					
		等の営業手法等に関する					
			材育成・働き方改革・民法改正等) 				
		,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	ステム)に関連した研修会 				
_		け現場見学会					
	その他						
内容	リアル&バー		費者向け説明会開催。SNSを活用した取り組み活動の消				
選択		グループ(事務局)の未経験工務店の割合				
		務店は所属していない					
	未経験工	務店の所属が1∕3未満					
	未経験工	務店が1/3以上					

未経験工務店がどれだけ所属しているかわからない

様式3

受付	番号	429	グループ名称	南九州の地域共生住宅をつくる会					
		-							
	選択		グループの未経験工務店に対するサポート体制						
_		未経験工務店	未経験工務店への優先サポートの実施						
		地域型住宅の	補助活用マニュアル(手順書)の用意					
-	-	各種認定取得	サービスの活用提案						
•		施工管理・施	I検査のサポート						
	-	営業支援(提案書作成・営業同行)					
•		事務局によ	る交付申請書類作成支	援					
		事務局によ	る実績報告書類作成支	援					
•		特にサポー	トは行っていない						
•	■ その他								
	内容	ではなく、営	業・設計・工務の各担	当者へ必要な研修を確認、実施。施主様向け活用研修会					
地垣	述型住宅	の地域社会との)連携や継承についての	D確認					
	選択		地域型住宅として	ご地域社会との連携・継承等について					
•	-	地域の伝統の	的なデザインの継承を	意識している					
•	-	地域の街並ん	みの継承を意識して対	応する					
•	-	地域の住まり	ハ方の継承を意識して	対応する					
		地域型住宅(こ和の住まいの要素を	取り入れた対応を行う					
災害	時等へ	の対応について	の確認						
	選択		災害発生	E時・発生後の対応について					
		特に取り決め	めしていることは無い						
		取組みを行	っている						
		・熊本地震の経験をもとに、災害発生時に実施すべきことを施工構成員で共通化している							

様式3

※ 災害発生時の国土交通省よりの情報提供の受け取りについて

■ 情報提供を受る

グループの取組み等PRポイントについて

■大地震、台風など自然災害が頻発する日本において「南九州の地域共生八ウスをつくる会」で |は、パナソニックの技術と科学を結集したオリジナル工法「耐震住宅工法テクノストラクチャー」 を採用し。またそこには、パナソニックの「許容応力度計算」を全棟に実施する事と、パナソニッ クの制振装置「テクノダンパー」を積極的に採用することで、想定外の災害にも根拠をもって立ち 向かえる住宅の建設に取り組みます。また災害後のライフライン維持の為にレジリエンス機能の強 化を随時実施いたします。その住まいに対する強靭化の全国的波及性が評価され、第8回「ジャパ ン・レジリエンス・ アワード(強靱化大賞) 2022」 優秀賞を受賞しました。

地域型住宅の性能・アピールポイントについて

- 2 午间「用九州の地域共土ハノ人を ノヽる云」(取り組んに夫視をもとに、ラ午及も用九州(熊 本・宮崎。鹿児島)の地域性に配慮した家造りに取り組みます。
- ■地震や台風など地域ごとに発生確率や強度の異なる自然条件に対して、パナソニックの許容応力 度計算を全棟に実施し、地域地震係数による軽減補正は行わず、認定長期優良住宅の適合条件を上 回る、全棟(ZEH含む)「耐震等級3」の確保を必須条件としております。過去熊本地震の際には この工法で熊本県に建てられた650棟を超える住宅に対して全棟確認を実施、構造に問題ないこと が確認できております。これから巨大地震が発生すると言われている中、安心・安全な住まいを提 供させていただきます。

地域型住宅における地域材の活用について

['] 現場保護、水焼的な不材具なの治用という兄地から古法不材をクルーノの地域材とし、土安構垣部 の過半に使用します

- ■柱、土台については100%合法木材とする。
- ■柱の構造基準については下記とする。
- ・構造用集成材(JAS)の規格品で有ること、同一等級構成積層4層以上とし強度等級区分は E 9 5-F 3 1 5 または E 6 5-F 2 5 5以上とする
- ■上記以外の構造材や2次部材に関しても積極的に同様の性能をもつ材料を使用する(但し1棟あた りの割合には含まない)

引き渡し後の維持管理について

- 説明する施工会社だけではなく、お施主様の維持管理に対する意識を高める。
- ■定期点検を少なくとも5年に1回は実施し、必要に応じて適正に修繕を行う。
- ■住宅のメンテナンスガイドと点検チェックリストを作成し、住宅の点検箇所や点検方法を共通化 する。
- ■第三者機関の住宅履歴サービスに点検と補修実施の履歴を登録し、何時でもその内容が確認でき るようにする。
- ■上記の活動から、良い住宅を長期間に亘り使用する事だけでなく、維持管理された良質な中古住

消費者相談窓口の有・無と対消費者に対する対応内容

消費者相談窓口がある

専用の電話番号告知&事務局ホームページの問い合わせフォームより 消費者様からの相談内容を施工店に確認し解決をはかる

既定の評価に含ま れないもの(記述)

F:交付申請におけるBELSの申請書作成及び申請は、どのような方法で行いますか?

(1)-7:モデルプラン計算結果(必ずモデルプラン計算を1つ以上入力ください)

全体 R(%)

105.8

エネルギー削減率

(1) -6:モデルプランによるゼロエネ住宅性能の試算で、モデルプラン計算は、どのような方法で行いましたか?

太陽光発電を除く RO(%)

30.4

様式5 モデルプラン

その他

その他

想定する 外皮平均 地域区分 熱貫流率 (1~8) (UA値)

No

1

2 4 5 グループ事務局が実施

グループ事務局が実施

0.56

実際の物件に導入している

グループ名称	南九州の地域共生住宅をつくる会					
R3採択グループ番号	10	-	0448	-	0672	

主な省エネルギー手法

陽熱利用給湯設備

空気集熱式太陽熱 利用システム

コージェネレーション

外注(外部事業者に依頼)

7										
8										
9										
10										
Nearly	ZEHのモラ	デルプラン	計算結果							
設問(3)	でNearl	yZEHモデ	ルプランを選択した	き場合は、必ず1つ」	以上入力してください	Λ				
No	想定する 地域区分 (1~8)	熱貫流率	エネルギー削減率		主な省エネルギー手法					
			全体 R(%)	太陽光発電を除く RO(%)	太陽光発電	太陽光発電 容量 (kW)	- 陽熱利用給湯設備	空気集熱式太陽熱 利用システム	コージェネレーション	既定の評価に含ま れないもの(記述)
1										
2										
3										
4										
5										
6										
7										
8										
9										
10										
		による評(省エネ手法	西 (評価委員 をお答えください	員会による評価を選	ま択の場合、ゼロエネ	審査室より連絡があ	らります)			
						選択項目				
	空気集	熱式太陽	熱利用システム		地熱利用					
	その他	!								
2)-2	現在の運	用をお答え	ください							
						選択項目				

実際の物件に導入していない

選択項目

選択項目

太陽光発電 容量 (kW)

3.9

申請事業者(施工事業者)にて実施

外注(外部事業者に依頼)

太陽光発電